



# みなと

みなと 61号 2020年8月1日  
兵庫県声の図書赤十字奉仕団  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5  
日本赤十字社兵庫県支部内  
(Tel) 078-241-9889 (Fax) 078-241-6990  
代表者 足利教治  
編集者 高橋晶子

## ネット総会を振り返って

3月16日新型コロナウイルス感染の危険が迫る中、声のアルバム3月号の発送作業が実行されました。その後、声奉活動の全面休止を余儀なくされました。

続いて4月には総会があり、外出自粛の中でどう対応したら良いかという問題がありました。支部へも確認したところ、「文書でも総会は成立する」とのこと、始めは議案を全団員に郵送して、承認の投票をして頂く方法を考えました。

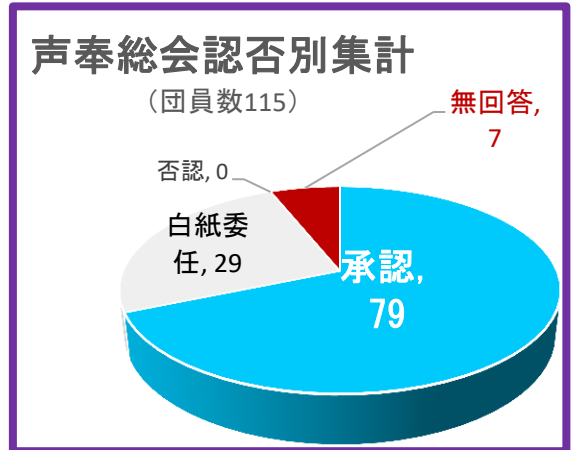
経費が掛かることや質疑等に手間がかかることも考慮し、メールを活用したネット総会をおもいつきました。

役員や運営委員にも協力頂き議案を作成し、4月7日に緊急事態宣言が発令される中、4月8日に議案をメールの添付ファイルで各グループに配信しました。(16名の方には議案を印刷して郵送しました。)初めての試みであり大きな不安とチョッピリ期待の入り混じった船出でした。

各グループの認否集計の締め切り日が4月25日だったので、しばらく休憩かと思いきや、明くる9日、予算案に対して質問のメールが届きました。また、認否結果報告の第1弾は4月11日に届きました。あまりの反応の速さに、驚くとともに少なからず感動しました。

以降、メールが届いたら喜び、メールが無かったらガックリの日々が続きました。途中で、語句修正の電話があったり、認否報告もあり、中間報告をホームページでアップしました。

4月24日、全グループの認否集計報告が出揃いよいよ結果報告です。集計結果は団員数115名中、承認が79名で約69%、白紙委任29名を含めると合計108



名約94%になりました。議案も承認され大きな問題もなく、約1か月近くかかったネット総会を終えることが出来たことは、団員の皆様のご協力のおかげであり、厚く御礼を申し上げます。また、期間中運営委員の皆様には本部とグループ団員の間に立ち、情報の伝達や意見集約等ご苦勞を頂き本当に有難うございました。コロナの渦中で声奉の活動休止の中、新体制のもと2020年度の活動を踏み出せたことは大きな喜びであり安堵の気持ちでいっぱいでした。

コロナ情勢も予断が許されないなか交流会の中止など通常の活動ができない状態が続いています。今後もコロナと共存しながら、リスナーに楽しんでいただけるよう、いろいろ工夫しての活動が続くと予想されます。団員の皆様のさらなるご協力をよろしく願いいたします。

委員長 足利教治（はあもにい）

### 2020年度本部役員

委員長	足利教治	（はあもにい）	留任
副委員長	長谷川洋子	（ことばの花束）	留任
副委員長	大下 操	（青年）	新任
会計	新田眞理子	（そよかぜ）	新任
会計監査	大林千秋	（ともしび）	留任
書記	高橋晶子	（神戸 YWCA）	新任

## 日赤支部奉仕課職員のご挨拶

### 奉仕課 青少年係長 渡邊 悠介



本年、4月から奉仕課に配属となりました渡邊悠介です。  
昨年度まで2年間、血液センターにて勤務しておりました。

平成14年に支部へ入社後、救護・ボランティア・青少年赤十字・振興業務を担当し、奉仕課には10年前に在籍しておりました。

奉仕課在籍中、声の図書赤十字奉仕団の皆さまには、普段からの活動以外にも、青少年赤十字提供プログラムの一つとして、点字やガイドヘルプの講習を実施していただくなど、支部事業にも様々な形でご協力いただいたことを思い出します。

10年以上ブランクもありますが、過去のことも思い出しながら、また、初心に戻り、皆さまとともに活動を推進していきたいと思っておりますので、何卒よろしく願いいたします。

## 前本部役員のひとこと



お役御免まで、あと一息の処だった。奉仕団初のネット総会に舵を切った後は、役員間でのPCメールが、怒濤のように行き交う。校正・訂正・また校正。

この作業を繰り返し、やっと総会が成立したものの、肝心の次期副委員長への引き継ぎ作業等を忘れていたという無責任ぶり。それをコロナ騒動の所為にしようとする私は、コロナより質が悪いかも。いやはや面白い2年間でした。

副委員長 志智公子（青年）

入団以来 特に目立った活動をすることもなく、不安を抱きつつの役員生活のスタートでした。

今は 無事任期を終えることができ、ホッとしております。

なかでも グループの垣根を超えて、電話やボランティアルームでいろんな方とお話しが出来ましたし、「役員さんは皆一生懸命やったださっているから・・・」という感謝の言葉は、いまでも心に残っております。

コロナの終息が見えない日々ですが、数々の親切なご指導、2年間本当にありがとうございました。

会計 原 陽子（神戸YWCA）

ご一緒した本部役員の皆さまのおかげで、2年間の書記を終えることができました。

「みなと」や議事録の作成で、運営委員・作業班・グループの皆さまとお話する機会に恵まれたことに感謝しています。

コロナ状況下... 予想もしない事態が相次ぎましたが、足利委員長の働き方改革で乗り切り、声奉の活動再開が、日々の気持ちの支えになりました。

これからは、一団員として、リスナーへ心が届く図書作りを、仲間と一緒に楽しみたいと思います。ありがとうございました。

書記 神坂順子（こすもす）

## 新本部役員のひとつこと



2020年度は新型コロナウイルスによるネット総会や声のアルバム休刊など、激動の幕開けとなりました。

今まで経験した事のない時の流れの中でのステイホームは自分に向き合う時間を与えられたと感じました。速度を緩めてじっくりと足元を考えることは未来へつながる力をもっている。

こうして変わらずにボランティア活動を続けられる事に感謝をするとともに、ポジティブな気付きを大切にしたいと思います。

2年間、どうぞよろしくお願い致します。

副委員長 大下 操 (青年)

会計監査から1年空いただけですが、今回会計をさせていただくことになりました。

2年間無事に勤め上げられるよう、皆様と力を合わせて頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。

会計 新田真理子 (そよかぜ)

15年度に入会し、17,18年度に運営委員を経験し、今回書記をさせていただくことになりました。神戸YWCAグループでは、できるだけ全員が役員を経験する(入会順に)ことになっており、順番がまわってきました。

運営委員のときは、初めて知ることばかりで戸惑いでしたが、皆さんの優しいご指導により、楽しく良い経験になりました。

今回も無理をせず、誰でもなれる本部役員を目指して(?)楽しく頑張りたいと思います。

よろしくお祈いします。

書記 高橋晶子 (神戸YWCA)

## デイジー班



新型コロナの影響で4月から休刊していた「日赤声のアルバム」が9月号から再開することになりました。

デイジー班では毎月「日赤声のアルバム」の発刊に向けて受け入れ・マザー作成・発送と大きく三つのチームに分かれて作業しています。そして奇数月の第一月曜日に定例ミーティング開催していますが、今年の3月はメールのやり取りで議案を進めたので、今年のデイジーミーティングは1月以来開催されていません。

しかし声奉の活動が少しずつ動き出した今、9月号の発送日（9月14日）にむけてデイジー班でのそれぞれの役割チームごとに連絡を取り合って準備を進めていますので、作業の進捗状況と今後の予定をご報告いたします。

### ●受け入れチーム

返却されたCDを整理するとともに、郵袋やCDケースの消毒（除菌シートでの拭きあげなど）はすでに完了

### ●発送チーム

整理された受け入れCDのうちコピートラブルを防ぐために「全消去処理」が必要と判断されたCDを適切に処理（7/14全消去済）

発送日はコピー用のCDの用意（ラベル貼り付け、CDコピー面の拭きあげ）

マザーCDを発送用CDに必要な数コピー、順次モニター実施、CDケースの消毒（除菌シートでの拭きあげ）郵袋に入れ名簿に記載など

### ●マザー作成チーム

8月末までに提出された各番組のデータを発送日まで数回に分けて作業の予定で作業用の大ブースを予約済み 9月14日の発送日午前中をめどにマザーCDを完成予定

担当チームごとの主な作業内容を記載いたしましたが、担当チームの枠を超えたデイジー班としての共同作業の部分もあります。

新型コロナの影響で作業が増えたこともあり「密」を避けるための工夫も必要となりますので、今後変更事項もあるかもしれませんが皆さまご理解ご協力をよろしくお願いします。

石田むつみ（ともしび）

## 点字班



昨年度より新役員として点字班の担当となり活動に参加させて頂いています。初めて点字(点字班)と出会ってからの1年余りを振り返りました。

点字班例会初日。緊張！も皆さんの穏やかな笑顔に迎えられ一瞬にして和らぐ。午前中は門田さんを中心に活動の報告と確認。「あらしの夜に」を学習。(皆さん読み慣れていらっしゃると思っていましたが、学習を続けていくことが大事なんです) 和やかな昼食タイムを挟んで午後からは各々ができる作業に取り組みられます。楽しく雑談しながらも、手分けした作業は地道にコツコツと続けられ、10時～15時という長時間に思えた活動は意外にもあっという間に終わりました。何もわからない状態で臨んだ例会でしたが、わからないなりに点字の学習や作業に参加でき(初参加者でもそれなりにお手伝いできることもあり)、終わってみれば皆さんのやさしさに包まれて充実感も…

点字班に参加する前は点字は全く読めない(読もうとしたことがなかった)もの。それが点字を「書く」「読む」ことを学ばせて頂き、リスナーさんがお便りを書かれる様子、また触読される様子を少し想像してみる事ができるようになりました。わずか6点の組み合わせで日本語も世界中の言語も表すことができる点字はすごいなあと感心しながら点字一覧表とにらめっこ！皆さんに助けを頂きながら初めてリスナーさんからのお便りを読むことができた時の感動・嬉しさは忘れることができません。(ほんのわずか数行ですが…)

点字はリスナーさんにとって大切なコミュニケーションのひとつ。声奉の様々な活動の場面で点字班の果たす役割は大きいと改めて感じています。そして点字班の皆さんが真摯に長年、その作業に取り組み続けていらっしゃることを知りました。

また学校講習(点字・ガイドヘルプ)は直に子どもたちと接することができる貴重な活動です。思いやりの心を育てる一助になれば！との、講師をはじめ皆さんの熱意が伝わってきました。

これからも前向きに楽しみながら活動を続けていきたいと思えます。

尚、前号の「みなと」でお知らせしました(団員向け点字講習会)は今年度は中止とさせて頂くことになりました。

コロナ情勢の好転を願い、関心のある団員の皆様の見学をお待ちしています。

大林千秋 (ともしび)

## 朗読・音訳を見直す会



### 未知の時を目の前にして

2020年が明けたとき、だれがいまのような世界の有様を想像したでしょう。

世界は、この数ヶ月ですっかり変わってしまいました。国と国との自由な交流は無くなり、新型コロナウイルスは、南北アメリカやインド、アフリカでまだまだその魔の攻撃の手を緩めてはいません。これをチャンスと捉え、自分の名声を高めようとか、金儲けをたくらもうとかさまざまな欲望も絡み合って、先は、混沌としています。そこに、更にこの大雨です。この梅雨前線は、中国大陸にもものびて、中国にも甚大な被害をもたらしているということです。

この大きな試練に遭遇して世の中はどうなっていくのでしょうか。本当に狭い私の考えですが、何か、世の中の空気が、微妙に変わって来ているように感じています。大雨も、コロナも収束しても、今までとは同じ世界には戻らないと思われてなりません。子どもたちでさえ、何か違っているような気がします。アフターコロナとか、ウィズコロナとかいろいろ言われていますが、新しい考え方や、さまざまな新しい方法、研究、学問がどっと現れてきそうな気がします。常識とか、価値観もどこか違って来るような・・・そして、世の中が微妙に変化しそうな・・・そんな気がしてなりません。

さあその中で、私たちはどうしたらいいのでしょうか？

ボランティアの意義や、考え方も、もしかしたら、ちょっと、ずれて来るかもしれません。

現在はどんどん状況は変わって行きます。あれやこれや、思い煩ったり、迷ったりしている余裕はないかもしれません。ぶれない心を持って、長い間学び経験してきたことを信じ、変わらない大切なものは大事にしながら歩いて行くしかないのではないのでしょうか。そもそも、言葉は、いきものと言われます。世に連れ、動き、変化してきました。それゆえ、「見直す会」の活動は休むことなく、続けなくてはならないし、古いものに固執してばかりいてはならないでしょう。

与えられた休止の時間に、みんなが感じたこと、学んだことを力にして、新しい時代に向かって動き始めませんか？ よろしく願いいたします。

またみなさまといっしょに活動するのを、楽しみにしております。

阿部陽子（はあもにい）



# 単行図書検討会



## 2019年度 単行図書貸し出しランキング表

2019.4.1～2020.3.31

順位	書名	著者名	貸し出し開始日	貸し出し回数
1	あずかりやさん	大山 淳子	2019.04.25	17
2	友情 平尾誠二と山中伸弥「最後の一年」	山中伸弥 平尾誠二、恵子	2019.01.12	16
3	さざなみによる	木皿 泉	2019.02.21	14
4	花のあと	藤沢 周平	2019.04.25	12
5	花散らしの雨	高田 郁	2018.04.12	11
6	あい 永遠に在り	高田 郁	2018.05.24	10
	八朔の雪2 みをつくし料理帖	高田 郁	2013.11.07	10
	福袋	朝井 まかて	2019.08.19	10
10	神の守り人(上)来訪編	上橋 菜穂子	2019.05.17	8
	あなたは、誰かの大切な人	原田 マハ	2019.10.17	8
	さくら色 オカンの嫁入り	咲乃 月音	2011.04.12	8
	夜行観覧車	湊 かなえ	2014.03.10	8
	ワンダー	R. J. パラシオ	2019.11.25	8
11	告白	湊 かなえ	2009.10.19	7
	終電の神様	阿川 大樹	2018.07.06	7
	伴走者	浅生 鴨	2018.12.27	7
	フリーター、家を買う。	有川 浩	2013.12.10	7

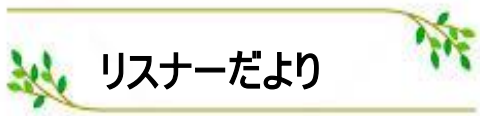
延べ貸し出し冊数 501冊

今年度は録音図書も増え、リスナーの方々への貸し出し冊数も随分多くなりました。

単行図書検討会で推薦本を決め、録音者を探してお願いしていますが、こんな本が面白い、興味深い、など蔵書にできるような本があれば単行図書検討会までどんどんお申し出ください。

中原昌代(ことばの花束)





## リスナーだより



山口桂子さん 2020.6.4

久しぶりの図書(単行図書「老後の資金がありません」)、とても楽しく聴かせていただきました。

タイトル見たとき「エッ」と思いましたが、姑さんのユーモアたっぷりの85歳に笑ってしまいました。若い気持ちを持って、私も歩みたいです。

次回の図書 楽しみにしています。

ありがとうございました。

達城あや子さん 2020.6.4

いつもお世話になります。

大変な時期に(単行図書を)送付していただき、ありがとうございます。

コロナの間、ますます読書(聴書?)が好きになりました。

皆さまも お体ご自愛ください。

香山良樹さん 2020.6.20

録音していただく時に、沢山のお手数ありがとうございます。感謝しつつ読ませていただきます。

特に若い時は、「ありがとう」の思いが足りなかったと反省しています。

今 コロナ問題が大騒ぎですが、日赤の皆さまの健康が守られますように。

岸田よう子さん 2020.6.20

こんにちは。いつも楽しませていただきありがとうございます。

「はあもにい(花時計)」の二宮さんの童謡・唱歌について、深い思いのお話しが、すっーと心にしみるように入ってきて、叙情歌の好きな私は、二宮さんのお話を全部点字に書きとめました。(略)

中原真理子さん

花時計3月号を聴かせてもらいました。

ワクワクドキドキどんな人にあえるかなは、唱歌、童謡研究家の二宮 清さんを初めて知り、幾つか童謡を聴くことができ良かったですよ。なかなか歴史を調べる事なんて出来ないけれど良い勉強になりました。(中略)

Marcy のミュージックカフェ 卒業ソングは、選ぶのに大変で沢山あるなと思いました。いつもなら別れの季節でいいけど、今年は新型コロナウイルスのお陰で卒業式もなかったから縮小されたりして、寂しいものがありますが、仕方ないですね。

はあもにいの企画はどれも取材をして、それに内容もこっているから花時計ならではのと思いました。

次は花時計を担当される時は、濃い内容になるように期待してまっているので、聴かせていただきますよ。

## メーリングリストより

2020.4.15

こんにちは 初めまして。私は神戸垂水区に住まいしております、小林 紀代（きよ）でございます。

遅すぎのご挨拶で恥ずかしいのですが、これからよろしく願いいたします。

このメーリングリストができることから、足利先生にお誘いをいただいていたのですが、なかなか書き込みできずにいました。と申しますのもこの何年か11月の交流会に参加できなくて…後ろめたい気持ちもありました。

私は、お琴と三絃(お三味線のことです)を教えています(といっても今は生徒は少ないのですが…) それで11月は合奏会や演奏会がよくあるのです。

今年も日視連音楽家協議会箏曲演奏会を西宮の芸文で開催予定になっていました。いろいろ曲を考えたりしていましたが?「コロナウイルス」で はやばやと3月の終わりに延期と決まりました。とっても残念に思いましたが、オリンピックも延びたのですものね。

先日から皆様が書かれておられますように、ほんとうに大変なことになっていますね。初め お船でおこった時は、なんとなく他人事「気の毒よね」って見ていました。それが あっという間に忍び寄られて 小さな集まりも、大きな行事も・・・みんな中止、延期となっています。

そして 私たちはお人の手をお借りしないとできないことも多く、困りますね。今は睡眠、食事! しっかりって元気であることかしら 毎日そんなこと思っています。

皆様もお元気に毎日をお過ごしくださいませ。

遅くなりましたが、これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

(後略)

2020.6.20

声の奉仕団 はあもにいグループの知らない人は知らない 足利です。長文で失礼します。(中略)

声の奉仕団も5月中旬から、声のアルバム9月号の発刊に向けて活動を開始しました。3密を避けながらなのでアクセル全開の活動とはいきませんが?しばらくお待ちください。

単行図書のデージーCDは、通常時と同じように貸し出しをしているようです。希望があれば問い合わせてください。

(後略)

2020.6.21

MLの皆さん、こんにちは。

初めてメールさせていただきます。

神戸市垂水区の、えとう みちこ と申します。声の奉仕団の皆さん、いつも本当にありがとうございます。

声のアルバム9月号を楽しみにしておりますね。MLでは、貴重な情報や音楽などを送っていただき、本当にありがとうございます。

毎日楽しみにしています。

では、これからもよろしくおねがいたします。

**編集後記:** 新年度(新役員)になって、初めての「みなと」です。皆さまのご協力により発行でき、ホッとします。これからもよろしくお願い致します。